

平成27年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ(東地区)	所管課	子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	2回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る		
施設概要	福岡放課後児童クラブ(定員70名、延床面積168.93㎡)、第2福岡放課後児童クラブ(定員26名、延床面積86.12㎡)、駒西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積192.53㎡)、上野台・第2上野台放課後児童クラブ(定員120名、延床面積311.36㎡)、西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積164.79㎡)、第2西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積220.27㎡)、元福放課後児童クラブ(定員70名、延床面積152.37㎡)、さぎの森放課後児童クラブ(定員66名、延床面積149.05㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

【評価項目】

【評価基準】 5: 目標以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標以上の結果(5以外) / 3: 目標値に達している場合 / 2: 目標値をやや下回る場合 / 目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合)	3

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	平均登録人数	501	人	468	人	
(特記事項)						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関すること 施設及び設備の維持管理に関すること 個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること 意見・要望への対応 運営改善の取組に関すること 児童の保育及び健全育成に関すること その他指定管理に関する業務 		基本協定、業務仕様書、特記仕様書の内容にしたがい、大きな事故もなく業務が実施された。		
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育 延長保育 昼のお弁当注文サービス 		左記について、自主事業協議書のとおり問題なく実施された。			
サービス向上の取組	平成27年度は、保育技術や地域交流、障がい児対応、危機管理、個人情報保護の観点から内部20回、外部9回の研修を実施し、のべ307人の研修参加実績があった。このことにより、サービスの総合的な向上を図っている。					

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成27年12月16日～12月26日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員等と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合印象	
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査を行った結果、「満足」～「ふつう」は各項目で82.4%以上であった。 ⑬総合印象は、「満足」「やや満足」と76.6%が回答し、全体として高評価となり、昨年度より0.01%向上した。(満足43.3%、やや満足33.3%、ふつう13.8%、やや不満足1%、不満足0%、未回答8.6%)	3
	(1) 良好とする評価 ・子供たちをまきこんで企画するのがいいと思います、とても工夫されている。 ・小学生になると子ども同士でのトラブルも大人が関与しすぎてはいけない部分もあります、先生方は様子を見つつ対応してくださりとともありがたく思っています。 ・忙しい中いつも丁寧に連絡帳を書いて下さり有難いです。 ・おたよりについて、細かい情報も知らせてくれる。毎月素敵なおたよりを配布して下さいありがとうございます。 ・手作りのものなど工夫していただいているので満足している。 ・安心して仕事ができるのは、児童クラブのおかげです。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設の老朽化が子供の安全健康を考えると気になる。 ・雪や台風などで登校不可となった場合送迎はするので開室して頂けるとよりありがたいです。 ・駐車場がないのは車通勤している保護者の方にはかなり不便だと思います。・長期休みのお弁当注文の日を増やせないでしょうか？ ・子どもたちの大人(目上の人)に対する言葉づかい、態度が目に残る。 ・開室時間を午前7時30分～午後8時までにしてほしい。 ・保護者会について、平日では仕事の都合で参加できない。また、土日は予定があるので参加できない。 ・全体的内容ばかりの説明が多いのでグループ別でよいので個人の様子を話してくれる回があったら出席したいと思いました。 《対応措置》 ・老朽化した施設については、定員超過との兼ね合いも考慮のうえ優先順位を決め、順次建替え整備予定。 ・子ども同士のかかわりについて、職員の間で連絡帳や所長会議で事例を共有し、適宜指導方法を改善し対処する。その際、児童の個々の個性に着目して、きめ細やかな対応を目指す。 ・延長料金は利用者が少なく支援員等の残業扱いの対応となり、人材確保も困難であることから、実施を見送らざるを得ない状況となっている。 ・保護者会は、保護者アンケートを実施するなど、より多くの保護者が参加されるよう引き続き工夫していく。 ・地区でサービスが違ふ点は、平成26年度より両地区の指定管理者と市による運営調整会議を実施し、統一を図るよう努めている。 ・その他、放課後児童クラブの主旨・目的と一致しない要望については、保護者に丁寧に説明をし理解していただくよう努める。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成27年度)				市の収支				評価				
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算(前年度)						
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額					
収入	利用料金		利用料金		歳入	施設使用料	40,868,500	施設使用料	35,835,238	3			
	指定管理料	112,000,000	指定管理料	112,000,000		行政財産使用料	1,708	行政財産使用料	4,228				
	自主事業※		自主事業※			国庫支出金	20,682,000	国庫支出金					
	その他収入		その他収入			県支出金	22,238,000	県支出金	28,436,584				
						その他		その他					
	計	112,000,000	計	112,000,000		計	83,790,208	計	64,276,050				
	支出	人件費	90,600,000	人件費		87,983,439	歳出	修繕料	864,000		修繕料	1,417,439	3
		設備管理費	2,046,000	設備管理費		3,236,774		保険料	86,923		保険料	59,924	
備品購入費		2,100,000	備品購入費	2,617,907	指定管理料	112,000,000		指定管理料	108,000,000				
修繕費		840,000	修繕費	717,396	業務委託料			業務委託料					
光熱水費		2,900,000	光熱水費	2,446,240	土地・建物賃借料	567,120		土地・建物賃借料					
事業費		750,000	事業費	815,757	その他			その他					
事務経費		1,240,000	事務経費	2,169,411									
本社経費		11,200,000	本社経費	11,191,196									
その他		324,000	その他	821,880									
計		112,000,000	計	112,000,000	計	113,518,043		計	109,477,363				
損益	0		0	差引	△ 29,727,835		△ 45,201,313						
※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること	収入	2,120,000	収入	2,365,240									
	支出	2,020,000	支出	2,309,160									
	自主事業損益	100,000	自主事業損益	56,080									
	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】							78.6%					
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由												

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置各施設に2人以上の常勤放課後児童クラブ支援員を配置し、1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長とする。 設備運営基準第10条3項各号に定める資格を有する者を、各支援単位につき1人以上配置する。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	3
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	3
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	3
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	3
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
児童の生活習慣の確立	・児童の個々の特徴にできるだけ合わせ、集団の中で個々の発達を促している。 ・障がいのある児童についても、職員に研修機会をあたえ、理解を促しながら生活習慣をどのように身につけさせることができるか、段階に応じて検討している。	4
地域・家庭との連携	第1回「こどもフェス」では、西武バス等の協力を得て催しを行い、地域の方々の参加も得られた ・迎いの保護者との積極的な対話を図っている。仕事の都合などで、放課後児童クラブとのかかわりをなかなかもてない保護者については、おたよりの発行や連絡帳でのやりとりをとおして連携を図っている。 ・児童の養育に問題のある家庭については、市役所と連携するなど児童の健全育成のため、個別の児童・家庭の問題についても積極的に取り組んでいる。	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	指定管理者の健全性	3	B		
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	3			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
	施設の設置目的の達成	4			
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期目の指定ということもあり、地域性や児童との関係も理解が深く、安定した運営と評価できる。 ・保育の内容については、総合印象評価で76.6%の満足度評価を得ており、利用者からの支持も得られている。 ・事業収支については、概ね適正であると考えられる。 ・管理運営業務については前年度発生した書類の誤発送等も改善され、適切に行われたと評価できる。 ・事故に対する対応は、概ね適切であるが、まれに市への連絡が遅れることがあり、次年度の改善点としていただきたい。 ・その他、家庭の問題等についても市に報告する等、児童虐待抑止の取り組みについても評価できる。 			
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間の延長 ・事故等発生時の連絡強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも課題としてきたが、平成27年度から施行された子ども子育て支援制度で、支援員の資格や配置員数の増員により、人材を集めることが難しくなり、実現には至っていない。 ・事故発生時に質・量の高い情報を迅速に共有するため、第1報様式を設け、市・事務局・現場すべて共有し、利用を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による保育人員の確保に協力し、開室時間延長の実現に向け準備を進めていく。 ・同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、これまで以上に人材交流や両地区の指定管理者を交えた運営調整会議を開催し、情報の共有・昇華を促したい。 		

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- 毎月「クラブだより」を発行し、各家庭へ配布、学校へも届けています。
また、年に3回、クラブの様子の写真を掲載し、カラー印刷でより見やすく、クラブの様子がわかりやすい「クラブだより」になるよう心がけています。
- 年4回の保護者懇談会の時、クラブでの子どもたちの様子を編集したDVDを上映しました。クラブでの様子がわかりやすいと保護者の方々から好評をいただいています。
- 新1年生の4月中の学校までのお迎えや防犯会議への出席、行事への参加や見学等、学校との連携を行っています。
- 放課後子ども教室の指導員の方々と連携しながら実際に行事を一緒に行いました。また小学校によっては、普段から一緒に遊び、児童クラブの子どもたちと子ども教室の子どもたちが交流しています。
- 支援員を対象に様々な研修を行っています。
 - ・支援員一人ひとりの危機意識の向上のために、危機管理研修を行いました。
 - ・食物アレルギーを持つ児童に対応できるよう「食物アレルギー研修」を行いました。
 - ・個々の児童への対応についての事例検討を含め、接し方や指導の仕方等の研修を行いました。
 - ・日々の保育について研修する機会として、クラブ間での交換研修を行いました。
 - ・積極的に研修学習に参加し、保育の視点を広げるよう努力しています。
- 子どもたちと一緒にクラブで野菜の栽培を行い、成長を楽しみ、収穫したものはクラブで調理し、おやつに出しました。
また、夏休みには各クラブで「お弁当を作る日」を設け、メニュー決めから買い物、調理、お弁当箱に詰めるまで子どもたちが行いました。いつも作ってくれているおうちの人の大変さも知る機会となっています。
- 日々子どもたちとの会話や「子ども会議」から、子どもたち自身が望んでいることをしっかり把握し、クラブ運営に生かします。
また、保護者への利用者アンケートを実施し、ニーズを把握し、反映していきます。

② 業務の効率化に対する取組

- 年に3回以上施設の点検を行い、日々の清掃、遊具の点検等を行うことで、子ども達が安全に遊べる環境作りを行っています。
- 職員間のミーティングを一日2回行い、職員用の連絡ノートを活用しながら、支援員全員が情報共有できるよう日々努力しています。
- ゴーヤやへちま等の「緑のカーテン」を栽培し、少しでも涼しく過ごせる工夫を行いました。
- 土曜日の保育は同じ学校内のクラブは合同で行い、効率のよい運営を行っています。
- 必要のない電気はこまめに消す、水は必要な分だけなど児童と一緒に節電・節水に努めています。

③ その他

- ふじみ野市子育て支援課としっかり協議をしながら連携に努めています。
- 26年度まで行っていた「ぶんぶんまつり」を27年度は「こどもフェス」とし、場所を中央公園に移して、「昔話し」をテーマに地域の子ども達を楽しめるおまつりを開催しました。放課後児童クラブの子どもたち、保護者の方を中心に、多くの地域の方々のご協力がありました。
- 毎年恒例となっている「かみふくおか七夕まつり」への竹飾りの展示は、準備の段階から子ども達が関わり、保護者の方々も一緒に展示を見に来ていただいています。
- 「西武バス」様のご協力で、今年度も各クラブに訪問して頂き、「交通安全教室」を行いました。
- 初夏、地域の農家の方のご協力のもと、じゃがいも掘りを行いました。また秋には「グループにんじん」のご協力のもとさつまいも掘りも行いました。子どもたちが収穫したお芋を使用して、各クラブで「手作りおやつ作り」を行いました。
- 地域貢献活動として、今ではめったに体験することのなくなった「やきいも」を上野台小学校の校庭をお借りして行いました。
地域で地域の方同士がつながり、楽しめることを目的に開催しました。
未就学児を連れた親子や小学生中学生、近隣にお住まいの方、遠くは西地区からも参加していただき、盛況なイベントとなりました。
- 中学生の「職場体験」の受け入れを行っています。

(2) 管理業務実施上の課題

- 登録児童の増加により、定員を超えるクラブがあります。事故等起きないよう、常にヒヤリ・ハットを出し合い、検証をしていきます。
今後子どもたちはもちろん、保護者にとっても安心安全な放課後児童クラブであるよう努力してまいります。

(3) 次年度以降の取組

- 毎年子どもたちと行っている火災、地震についての避難訓練の他、不審者への対応についての訓練を実施します。
- これまで毎年ディキャンプを行ってきました。今年度は1泊のキャンプを計画しています。
- 個々の子どもの様子をしっかりと見ながら、生活での困り事や不安はないかの支援も行っていきます。
- 地域貢献活動の充実を目指します。